



筒木坂FC 社会人サッカー東北1部リーグの戦いに挑む

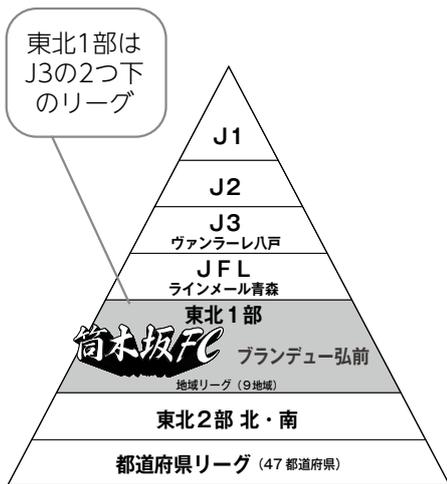


しゃこちゃんをバックにあしらったエンブレム。世界文化遺産登録を目指すしゃこちゃんが、かすむくらの活躍を見せたいという思いがデザインされています

木造筒木坂のサッカーチーム「筒木坂FC」(三橋淳代表)が、社会人サッカーリーグで奮闘しています。2020年の東北社会人サッカーリーグ2部北で優勝し、東北1部リーグに昇格。4月に開幕予定の2021年シーズン、東北6県を舞台に、各地の強豪との戦いに挑みます。

筒木坂FCは1995年、筒木坂小学校の卒業生を中心とした旧木造町のサッカー好きが集まって結成されました。チーム躍進のきっかけは、弘前の強豪・ブランデュエ弘前を退団した4選手の加入。即戦力として活躍するだけでなく、サッカーに取り組む姿勢でチームメイトを引っ張り、チーム全体の力が底上げされました。2019年には県社会人リーグ1部を制覇。ビーチサッカーの県大会に位置づけられる中泊ビーチサッカーフェスタでは、2019、2020年に2連覇を果たしています。

練習は仕事が終わった後、平日夜に東奥義塾高校(弘前市)の人工芝グラウンドで定期的に行うほか、週1回、柏総合体育センターで室内練習を行っています。西北地域には人工芝の施設が無いため、練習環境の整備は悲願。三橋代表は「東北1部は、技術面でも遠征費などの資金面でも厳しい戦い。まずは残留を目指す。自分たちが戦う姿を見て、子どもたちがサッカー選手を志してくれたらうれしい。そして、未来に少しでもいい環境を残せるように全力を尽くす」と力を込めます。2021年、筒木坂FCの戦いに注目しましょう！



柏中・成田倅紳さんがバスケット全国大会へ

柏中学校(石田陽一校長)3年の成田倅紳さんが所属するバスケットボールのクラブチーム「B.JOKER」(青森市)が、11月下旬に開催された県U15バスケットボール選手権大会で優勝し、1月4日から調布市で開催される全国大会への出場を決めました。

成田さんは、技術と身体能力の高さを合わせたフォワードの選手。全県から優秀な選手が集まる同チームで、頼れる点取り屋として活躍しています。

12月8日、成田さんが福島市長に全国大会出場を報告。「ベスト8が目標。シュートをたくさん決めてチームに貢献したい」と活躍を誓いました。福島市長は「青森の粘りを発揮してがんばってください」と激励しました。



全国大会への抱負を語った成田さん(中央)

市内の中学生が大会で奮闘

令和2年秋に開催された大会の主な成績を紹介します。

柔道



成田歌蓮さん

豊嶋大翔さん



車力中柔道部

バレーボール



木造中男子バレーボール部

【バレーボール】
県中学校新人バレーボール
選手権大会 ▼男子第2位
木造中男子バレーボール部

陸上



木造中陸上競技部



昨年は多くの大会が中止となりましたが、選手の皆さんは、己を高めるため日々の練習に励んでいます。

【柔道】県中学校新人柔道大会 ▶女子個人70kg級第1位：成田歌蓮(五一中1年・柏在住)▶同63kg級第1位：横山琉愛(車力中1年)▶同57kg級第2位：坂本天海(車力中1年)▶同52kg級第1位：葛西萌恵(車力中1年)▶同44kg級第1位：佐藤心美(車力中2年)▶男子個人55kg級第2位：豊嶋大翔(木造中1年)▶同90kg超級第3位：佐々木泰心(車力中1年)▶同50kg級第2位：佐藤汰珠(車力中1年)▶女子団体第1位：車力中

【陸上】全日本中学生通信陸上競技青森大会 ▶男子共通200m第2位：成田寛人(3年)▶男子低学年4×100mリレー第2位：斉藤颯太(2年)、渋谷楽哉(2年)、金澤聖心(1年)、北嶋瑛太(1年)▶女子2年100m 第3位：高橋南汐(2年)

県中学校新人陸上競技選手権 ▶男子2年100m第3位：斉藤颯太(2年)▶男子1年4×100mリレー第2位：川村虎牙(1年)、北嶋瑛太(1年)、金澤聖心(1年)、木村虎太郎(1年)▶女子2年200m 第2位：高橋南汐(2年)

「土器！ドキ！つがる縄文缶バッジ」はいかが？

木造高校の生徒が、世界文化遺産登録を目指す田小屋野貝塚と亀ヶ岡石器時代遺跡をPRするため、オリジナル缶バッジを制作し、12月5日から市内4カ所で販売しています。考案したのは、同校流通ビジネス系列の3年生6人。デザインは、遺跡から出土した遮光器土偶をモチーフにしたものや、つがるちゃんの目を遮光器にアレンジしたものなど全11種類。素案36種類の中から向陽小学校の児童らにアンケートを行い、人気が高かったものを採用しました。

制作した西村瑠久さん、澤田渉さん、三橋美優さんは「バックにつければ縄文のPRにも繋がるので、多くの方に購入してほしい」と呼びかけました。

缶バッジは1個100円(税込)。JR木造駅、市農産物直売所、道の駅もりたアーストップ、市役所内の観光物産協会で購入でき、売り上げの一部は縄文遺跡のPR活動へ役立ててもらおう予定です。



(写真上) 缶バッジを制作した木造高校生徒



(写真左) 商品化された缶バッジ